

決定版

ザ・ロンゲスト・スプリング 熱海殺人事件

つかこうへい

水野 いらんことじゃないじゃありませんか。マリ子さんだってもう十分一人歩きできる年です。あなたがそんなに犠牲になることなんかないの。女はそんなにバカじゃありませんわ。

部長 この殺しは、かなり手こずりそうだな。

水野 だからこそ、あなたにとって名指してきたんじゃないじゃありませんか。難しい事件はいつもあなた。あなただったら本当に人がいいんですもの。引き受けちゃって、おかげで四六時中仕事仕事。あなただったらいつだって仕事一本槍じゃない。

部長 水野君、愛のささやきはベッドの上でしか、私は好まない。

水野 女はベッドがすべてじゃありませんわ!!

部長と水野、「どうだ」とばかり熊田を見て笑う。

熊田 あなた達、いつもこんなことやってるんですか？

部長と水野、怒る。

決定版

ザ・ロンゲスト・スプリング 熱海殺人事件

つかこうへい

江苏工业学院图书馆
藏书章

白水社

決定版
ザ・ロングスト・スプリング 熱海殺人事件

一九九二年四月二〇日 第一刷発行
一九九二年六月二〇日 第二刷発行

著者 © つかこうへい

発行者 藤原 一 晃

印刷者 山 岸 真 純

発行所 株式会社 白水社

東京都千代田区神田小川町三の二四

電話 営業部 ☎(三三)七八二一

編集部 ☎(三三)七八二一

振替 東京 九一三三二一八

郵便番号 一〇一

著者略歴
昭和二十三年福岡県生まれ
慶応大学中退
戯曲「熱海殺人事件」で岸田戯曲賞、
小説「蒲田行進曲」で直木賞、
戯曲「飛龍伝'90殺戮の秋」で読売文学賞戯曲賞受賞。
著書に
「つかこうへい作品集」
「幕末純情伝」「リング・リング・リング」
など多数

三秀舎印刷・黒岩製本

ISBN 4-560-03368-4

Printed in Japan

決定版

ザ・ロンゲスト・スプリング

熱海殺人事件

装幀・古賀賢治

所

東京警視庁、木村伝兵衛部長刑事捜査室。

登場人物

木村伝兵衛部長刑事

熊田留吉刑事

水野朋子婦人警官

容疑者 大山金太郎

チャイコフスキーの「白鳥の湖」の流れる中、静かに幕が上がる。

東京警視庁、木村伝兵衛部長刑事が、受話器を握りしめ、わめいている。

部長

のぼせあがるな！ 鑑識ふぜいが聞いたふうな口ぬかすんじゃないやねえよ！ こんな写真が使いものになるか。こんな写真じゃ俺が燃えねえんだよ。鼻たらしで股ひろげて口開けさせといて、お前ら、何年ヤマ扱ってんだよ。もうちよつと目もとパツチリさせてよ、口元すぼめるだけでも何とかならんのか。修正できねえのかって言ってるんだよ。ブン屋さんに気づかれんようにしろ。夕刊の締切までに何とかしたまえ。できなきゃファツションモデル使って撮り直しやいいだろうが！ それに容疑者の大山金太郎だが、絶対サングラスはずさねえように言っとけ。今日富山からお偉い刑事さんがいらつしやるんだよ。あんなアホ面見せられんだろうが。ちつたあ、俺の立場を考えろ！！ バカヤロー！

部長、殺気を感じ振り向く。

と、旅行バッグを抱えて、不敵な面構えの熊田留吉刑事がニヤついて立っている。

部長
何ですか？

熊田 本日付けで、警視庁捜査一課に転任の辞令を受けました熊田と申します。

部長 熊田？

熊田 留吉です。

部長 あなたでしたか。富山県警きつての切れ者だと聞いていますよ。

熊田 ……あの、木村伝兵衛部長刑事は？

部長 私ですが？

熊田 お若いんですね。

部長 ハハハ、ハハハ……。

熊田 ……。

部長、ゆつくりと席に着き、

部長 チャイコフスキーは好きですか。年に零度を上回る日が幾日もないという酷寒のシベリ

ア大地では、火の酒ウォッカは人々にとって必要不可欠なものであると聞いています。が、彼は執拗なまでに地中海の空にも似たワインを嗜んだという。あのシベリア熊でさえ恐れをなすという極寒のツンドラ大地で、これだけ軽薄な前奏を五線譜に刻みつけられるあのルドルフ・チャイコフスキーという男、とんでもないかさま野郎だと思います。……が、好きです、私はその鼻持ちならなさが。その鼻持ちならなさが。フフフ。

熊田 ……。

部長 私、世界には四人の巨人がいると私は思っております。一人はリヒャルト・ワーグナー。一人はフリードリッヒ・ニーチェ、ピンセント・パン・ゴッホ。そしていまひとりのタキシードの男はいずれあなたの口から聞きたいものです。

熊田 ……。

部長 しかしその若さで、本庁から呼出しがかけるとは、さぞかし名譽なことでしょうな。立浪警視總監のお嬢さんとの縁談話も進んでるんですって？ あの方は天使です。無垢で汚れがなく、人を疑うことを知らない人です。てめえのようなゲスな野郎が手を出すようなお方じゃねえんだよ。まったく世渡りばかりうめえ野郎だよ。

熊田 ……!!

部長 富山の馬はどうしました。キャバレー勤めをしながらてめえの大学の費用をだしてくれたあの馬面の年増女だよ。ちゃんとケリはつけてきたんだろうな。

熊田 はい。

部長 女と別れる時ははっきり別れてくれと言うもんです。俺はカクカクシカジカで東京に行つて出世がしたいから別れてくれ。玉の輿に乗りたいたからお前のような女がついてたら困るんだと睡眠薬の一瓶でも差し出せば、女は死んでくれるもんです。その度胸がねえとあちこち女を不幸にします。

水野、出てくる。

部長 水野君です。どういうタイプの女性かという一言で言えば私の女です。いや照れますな。

ハハハ。

熊田 ……。

部長 何かお聞きになったらいかがです。

熊田 何をですか。

部長 だから、例えばばら、本当ですかとか。

熊田 本当ですか。

水野 はい。

部長 いや照れますな。水野君はこの事件を最後に静岡に嫁いで行きます、私という男がありながらです。なあに相手は静岡で茶畑を経営しているケチなあんちゃんです。

水野 ……。

部長 いやね、水野君に私も何度もプロポーズしようと思ったのですが、なかなか一步踏み込むことができない。また彼女も一步踏み込んで、私にプロポーズさせることができない。そして君もまた一步踏み込むことができず、富山の馬と別れることを躊躇している。しかし、この熱海殺人事件の容疑者大山金太郎は、一步踏み込んで山口アイ子の首を締めることができた。そこが問題です。

熊田 どこだ。

部長 つまりこの事件は、一步踏み込むことのできない一級下の人間たちが、一步踏み込み首を締めることのできた一級上の人間を捜査する。そんなバカなことがあるか!!

熊田 ……！

部長 つまり、捜査官はすべからず謙虚であれという金言が無事引き出せたわけですね。では始めましょうか。これが報告書です。目を通してください。その背広、富山の馬から買ってもらったものですか。似合いますよ、フフフ。

部長、報告書を放る。

熊田 ……。

部長 どうしました。拾ってください。(熊田、拾う) イモがよ、カッコつけんじゃねえよ。

熊田 チツ。

部長 被害者山口アイ子、富山の馬に勝るとも劣らぬ聞きしにまさるブスです。ブスにとりいるには、何かテクニクでもあるんですかな。

熊田 貴様!!

熊田、掴みかかろうとすると、マイクが突き出される。

部長 あなたのマイクです。私の得意技、歌う捜査法です。のべつまくなし歌います。容疑者だつて人間です。マイク欲しさに自白することがよくあります。

熊田 クソ。(とマイクをもらう)

部長 個人的に申せば私、苦楽を共にした女を捨て玉の輿に乗るような男は好きではありません。

熊田 ……。

部長 では、午前四時半という死亡推定時刻から始めましょうか。君はどう思いますか、その死亡推定時刻。

熊田 どう思うって、どういうことです。

部長 書き直しといってください。

熊田 報告書を書き直すんですか！

部長 また見つかった。何が海とけあう太陽か。アルチュール・ランボーです、他人とは思えません。つまり私は、美しい夜明けにブスな女が殺されるのが好きじゃないと申し上げたかったのです。

熊田 いずれにせよ、容疑者大山金太郎が捕まったのが熱海駅前のパチンコ屋で午後七時となっております。ですから、この容疑者の犯行後の足取りを追ってから洗い直しても遅くはないんじゃないですか。

部長 足取りなし！

熊田 えっ。

部長 下衆な殺しした犯人に足取りもへったくれもあるか！ 足取りなし！

熊田 ……!!

部長 俺を誰だと思ってやがる。東京警視庁の木村伝兵衛だぞ。こんな熱海でしがない工員が腰ひもで女工の首締めただなんてチンケな事件押しつけられてたまるか。大体、工員って何だ。そ

んなもんが今どき日本にいるのか。あんなもんは出稼ぎのベトナム人かフィリピン人にやらしときゃいいんだ。ポートピープルでどんどん来るんだから牛や馬みたいにこき使えばいいんだよ。

水野 部長！

部長 水野君、公私混同は困ります。他人がいます。仕事は仕事、あれはあれです。あなたのその燃えるような女体を静めるのはたやすいことですが、

熊田 何なんだよ、燃えるような女体ってのは。

部長 今はオン・ザ・ビジネス。大人になってください。

水野 ……。

部長 おめえ、年いくつだ。

熊田 二十五になります。

部長 嘘つけ！

熊田 三十です。

部長 ……サバ読みやがって。私は若く見えますが、若いです。

熊田 ……。

部長 しかし最近の若い者の心境は測りかねるところがあります。容疑者大山金太郎の年令は幾つになつていますか？ ……君に聞いとるんだよ、熊田某君！

熊田 十九と書いてありますが。

部長 十九が気に入らなきや好きな年に書き直しゃいいだろう、このバカ野郎が。

熊田 ……！

部長 しかし、静岡県警もまったく変な事件を押しつけてくれたもんだよ。妹にスカート一枚買つてやるのに半日はデパートを歩き回らにやならんこの俺は、もう四十だぞ。十九やそいらの若僧の気まぐれ割り出せなんて、どだい酷な話なんだ。

熊田 生意気なようですが……。

部長 生意気だな、お前は！

熊田 ……私も二十歳前はたちの人の考え方にはほととついていけないことがあります。

部長 無理せんでもよろしい。

熊田 無理はしております。

部長 無理したじゃないか！

熊田 ただそう思うから、そう申し上げただけです！

部長 今、無理したじゃない！

熊田 別に無理はしておりません！

部長 無理したじゃない、今！

熊田 無理しております！！

部長 一本気な男なんだね。

水野 熊田刑事、うちの部長はね、妹さんの話をするとき機嫌がよくなりますのよ、覚えてらっしゃるといいですわ。

部長 いらんことは言わんでよろしい。

水野 いらんことじゃないじゃありませんか。マリ子さんだつてもう十分一人歩きできる年です。

あなたがそんなに犠牲になることなんか無いの。女はそんなにバカじゃありませんわ。

部長 この殺しは、かなり手こずりそうだな。

水野 だからこそ、あなたについて名指しできたんじゃないやありませんか。難しい事件はいつもあなた。

あなただったら本当に人がいいんですもの。引き受けちゃって、おかげで四六時中仕事仕事。あなたたつたらいつだって仕事一本槍じゃない。

部長 水野君、愛のささやきはベッドの上でしか、私は好まない。

水野 女はベッドがすべてじゃありませんわ!!

部長と水野、「どうだ」とばかり熊田を見て笑う。

熊田 あなた達、いつもこんなことやってるんですか？

部長と水野、怒る。

部長 死体の発見者は？

熊田 発見者は熱海に慰安旅行に来ていた板橋の消防団員です。

部長 名前は？

熊田 山田太郎です。

部長 山田かよ、どうして俺んところは山田とか熊田なんて貧乏臭い名前の奴ばかりが来るんだ？

まったく山田とか熊田なんてのは牛とか馬が進化した名前だよ。そうは思いませんか。

熊田 そうは思いません。

部長 変わつてゐるね、あんた。

熊田 何だと……。

部長 でだ、その山田太郎に、容疑者大山金太郎が使いもんにならんかった場合、一仕事してもらわないかん。

熊田 どういうことですか、使いもんにならんかった場合とは。

部長 使いもんにならんかった場合よ。

熊田 一仕事って何ですか。

部長 犯人になつてもらうってことよ。

熊田 何ですって。

部長 言つとくがな、山田がだめだったら、おめえに十三階段昇ってもらう。

熊田 バカな！

部長 俺はそういうことをやる男だ！！

熊田 ……。

部長 第一、おめえの二枚目面したこすっからい顔は刑事っていうより、犯人って顔だ。

熊田 ……。

部長 いやあまあ、俺も大山金太郎で頑張つてはみるけど、万一の時の保険だ。そうつつかかつて

くんな。

熊田 お噂には聞いてましたけど、なるほど変わった方ですね。

部長 変わってますよ、私は。が、力があります。

熊田 ……。

部長 フフフ。

熊田 ……。

部長 でだ、その山田って男、何かないかね。

熊田 何がですか。

部長 だからよ、こんなチンケな殺しにや、発見者の山田でも色っぽく絡ませねえとやってられないことだよ。

熊田 何言ってるんだよ。

水野 部長、こういうのはどうでしょう。大山が首を締めた段階では、まだ死んでいなかった。それを発見者の山田が欲望にかられてその死体を強姦した。白い砂、熱い太陽、白昼の欲情。

熊田 ……。

部長 しかし水野君、殺しの場所は名にし負う大衆浜辺、熱海の海岸だよ。ハゲ頭の中小企業の社長が錦糸町あたりのしょんべんバーのホステスを連れて行く所だ。

水野 はい。

部長 そして、被害者、山口アイ子を殺害に到った凶器は砂浜に落ちてた浴衣の腰ひもだ。まったく君らがしっかりしとらんからこんなチンケな事件を俺が押しつけられるんだ。